

(別紙4(2))

事業所名 グループホームくたみのもり

目標達成計画

作成日: 平成27年02月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	行動を抑制・制限する言葉を疑問に感じる風土づくりスピーチロックについては、ミーティングなどを通して具体的に深めて行くことが求められます。	事業所内で不適切な言葉かけへの違和感を大切にして、言葉による拘束であるスピーチロックを限りなく0に近づけていく。	・スピーチロックへの考え方、取り組む方向性を、 Ⅰ．施設として明確に宣言する。 Ⅱ．職員間相互の振り返りや話し合いを行い、継続的に検討できる見直しを行う場をつくる。	24ヶ月
2	10	家族の意見や要望、苦情等を職員間で共有する記録の工夫が望まれます。	家族の意見や要望、苦情に対しては、解決そのものを目的とするのではなく、サービス全体の改善の機会と捉え意向の把握に努める。	・職員で記録内容の書き方に差異が生じないようにし、記録内容を全職員が周知できるよう、 Ⅰ．記録要領の作成する。 Ⅱ．職員への記録記載の研修・指導を行う。 Ⅲ．全職員が記録を閲覧したことの確認をとる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。